科目名	基礎デザイン実習C							年度	2024
英語科目名	Basic Design Practice C							学期	前期
学科・学年	デザイン科 グラフィックデザイン専攻 1年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	荻野 龍登		教員の実務経験		有	実務経験の職種		映像クリエイター	

【科目の目的】

課題制作を通じて映像の仕組みと動画編集ソフト（Adobe Premiere）の基本的な操作方法を身につける

【科目の概要】

導入ではスマートフォンでの撮影／動画編集アプリでの編集を通して映像の仕組みを理解し、実践としてAdobe Premiereを用い映像編集における基本知識・技術を習得する

【到達目標】

A:映像の基本的な仕組みを理解する
B:Adobe Premiereの基本的な操作方法を理解する
C:Adobe Premiereを駆使し映像作品を制作する

【授業の注意点】

・授業を妨害する私語、行動は慎むこと
・原則すべての授業に出席すること。やむおえない遅刻や欠席の事情がある場合は未履修の範囲を質問や各自で補うよう努めること。
・原則すべての課題を提出すること
・動画に限らず日々コンテンツや最新情報をチェックし課題制作に活かすこと

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている		レベル３ ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	映像の基本的な仕組みが正確に理解できている		映像の基本的な仕組みが概ね理解できている		映像の基本的な仕組みが理解できていない
到達目標 B	Adobe Premiereの基本的な操作方法が正確に理解できている		Adobe Premiereの基本的な操作方法が概ね理解できている		Adobe Premiereの基本的な操作方法が理解できていない
到達目標 C	Adobe Premiereを駆使して高品質な映像作品が制作できている		Adobe Premiereを駆使して映像作品が制作できている		制作された映像作品の品質が低い

【教科書】

特になし

【参考資料】

必要に応じて資料を配布する

【成績の評価方法・評価基準】

出席率／課題提出率および品質／授業態度を総合的に評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	基礎デザイン実習C	年度	2024
英語表記	Basic Design Practice C	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業の概要説明および動画の仕組み	授業の概要説明および動画の仕組みを理解する		授業の概要説明	授業の方針／課題／評価方法について理解する		
				動画の仕組み	フレームレート／解像度など動画の仕組みを理解する		
2	課題提出の準備	課題提出に必要なシステムについて理解する		YouTubeチャンネルの作成	YouTubeチャンネルの作成と動画のアップロード／管理方法を理解する		
				classroom	classroomを用いた課題の提出方法を理解する		
3	スマホ／タブレット版動画編集アプリを用いた動画編集	トリミング／カット／トランジションの基本を理解する		トリミング	トリミングの仕組み理解する		
				カット	カットの仕組みを理解する		
				トランジション	トランジションの仕組みを理解する		
4		テキスト／BGM／効果音の基本を理解する		テキスト	テキストが与える視覚効果／意味を理解する		
				BGM／効果音	BGM／効果音が与える効果を理解する		
5		著作物を利用する上での注意点を理解する		著作権について	いかなる制作物にも著作者／著作権があることを理解する		
				著作物の利用方法	著作物を利用する際の利用範囲／表記方法など注意事項を理解する		
6	Adobe Premiereの基本操作	トリミング／カット／トランジションの基本を理解する		トリミング	トリミングの仕組み／操作方法を理解する		
				カット	カットの仕組み／操作方法を理解する		
				トランジション	トランジションの仕組み／適用方法を理解する		
7		テキスト／BGM／効果音の基本を理解する		エッシェンシャルグラフィックス	エッセンシャルグラフィックスの挿入／調整方法を理解する		
				BGM／効果音	BGM／効果音の挿入／調整方法を理解する		
8		キーフレームアニメーションの基本を理解する		キーフレーム	キーフレームの挿入方法／調整方法を理解する		
9	課題制作	Adobe Premiereの基本操作を課題制作を通じて実践する		自由なテーマで動画作品を制作する	課題制作を通じて実践することで動画編集スキルを定着させる		
10							
11							
12							
13	課題講評会の準備	課題講評会に向け準備を行う		発表の準備	制作に要した時間／工数／工夫点などを客観的に見る		
14	課題講評会（前半）	課題の発表と評価		課題を発表する	自身の課題の制作工程／工夫点などを他人に伝達する		
				課題を評価する	他人の課題の制作工程の理解／客観的に評価する		
15	課題講評会（後半）	課題の発表と評価		課題を発表する	自身の課題の制作工程／工夫点などを他人に伝達する		
				課題を評価する	他人の課題の制作工程の理解／客観的に評価する		
				後期授業の振り返り	現状の自身の知識／スキル／改善点を把握する		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等